

人が笑顔になる 場づくりを、 楽しみ続けたい。

人生の原点は、 愛知淑徳の6年間。

愛知淑徳中高で過ごした日々は、私にとって、原点です。6年間の出会いや経験、学びを通して、人生の土台を築くことができました。クラスメイトや先輩後輩はみんな、個性の爆発といった感じでもっともパワフル。先生もユニークな方が多く、生徒一人ひとりをおおらかに受け止めて、自分らしさを見失わず成長できるよう見守ってくださいました。そんな恵まれた環境で、私は勉強だけでなく学校行事、中学校では放送部、高校ではフルート同好会の活動などに励みました。思い出深いのが、高校の学園祭。1・2年は美術実行委員、3年はミュージカル副実長を務め、学年をこえた仲間と力を出し合いました。みんなが笑顔になる場をみんなで作ることが楽しくて、そのときのワクワクする

気持ちは現在の仕事にも通じていると思います。

高校卒業後は名古屋大学情報文化学部に進学し、デジタルメディアや心理学など幅広い分野を学びました。そして就職活動中に興味を持ったのが、株式会社電通です。今振り返ると、愛知淑徳の学校行事や部活での経験、大学での学修が、クリエイティブの仕事につながったと感じています。

クリエイティブの第一線に 立ち、チャレンジを重ねる。

入社してから18年目の現在に至るまで、イベントやCM、コンテンツなどの企画・制作に携わっています。もししたら人々が楽しくなるか。社会がよりよくなるか。その視点を大切にしながらコミュニケーション・プランナーとして企画を提案し、クライアントをはじめ多くの人に喜んでいただける広告やコン

テンツ、空間を形にすることにやりがいを感じています。

20代、30代はキャリアを積み重ねると共に結婚、出産、育児を経験。夫と協力して仕事と子育てを両立させ、1児の母としても奮闘してきました。だからこそ、今後はクリエイティブのスキルを活かしながら、いろんな場づくりや、ローカルな(愛知の地域はもちろん)商品や場のブランディングにも関わっていききたいと思っています。

今、大切にしていること、自分なりに考えて取り組んでいることは、必ず将来に活きると思います。愛知淑徳で学ぶ学生・生徒のみなさんも、何事にも臆せずチャレンジしてください。興味があるなら行動を起こさなくてもいい。たとえ失敗しても、そこで学んだことや経験したことが、何年後に自分の力になるはずですよ。



美術実行委員として校内装飾に力を注いだ、高2の学園祭(左が多田さん)。“みんなが楽しめる空間づくり”のおもしろさを実感。



社内外のミーティングでは、参加メンバー全員が活発に意見を出し合えるよう、話しやすい環境を整えることも大切にしています。

株式会社電通 CXクリエイティブ・センター
CXクリエイティブ推進部
クリエイティブディレクター

多田 倫子さん(旧姓:加藤)

愛知淑徳高等学校を2002年3月に卒業。名古屋大学情報文化学部を卒業後、2006年4月に株式会社電通に入社。クリエイティブの部署に在籍し、イベントやCM、コンテンツなどを企画・制作。プライベートでは9歳男の子の母。